

「発達性読み書き障害」講演会のご案内

このたび、学習障害の中核症状である「発達性読み書き障害」に関する学術的な講演会を開催いたします。発達性読み書き障害に関する科学的な研究発表会です。対象は、学習障害や発達性読み書き障害に関する専門家が中心で、現場の先生方や学生のご参加も歓迎いたします。

プログラム

Taeko Wydell PhD (英国 Brunel 大学)

「英語と日本語との bilingual dyslexia 児からみる母国語の影響」

小枝達也 (鳥取大学)

「日本の読字障害 (dyslexia) における機能的 MRI 解析」

宇野彰 (国立精神・神経センター精神保健研究所)

「small step by step アプローチは本当に有効なのか ?

－訓練方法によって変わる大脳の賦活部位－」

時 : 2001 年 12 月 9 日 (日) 10:00-15:45

所 : 国立精神・神経センター精神保健研究所研修棟 2 階

272-0827 千葉県市川市国府台 1-7-3

参加費 : 3000 円 (先着約 60 名)

申込み : e-mail もしくは fax にて事前にお申し込みください。

お申し込み頂いた方に交通手段の詳細や地図などを

返信させて頂きます。

主催 : 発達性 dyslexia 研究会

後援 : 認知神経心理学研究会、LD 懇話会かながわ、

Dyslexia 研究会、EDGE (NPO 組織)